

## 因果律表(過去) D20 ROC

出目	因果律	解説
0	前世	知らない場所、知らない人、見たことのない物。あなたにはあなたの知らない記憶がある。これは単なる思い込みなのか、デジャブなのだろうか。あるいは、これらの記憶を持っているのは前世のあなたなのかもしれない。
1	漂泊の日々	あなたは親兄弟とは早々に別れ、孤独な幼年期を過ごした。ひとつ所に留まらぬ漂泊の生活を過ごし、親しくなる者もいなかった。今のあなたを作ったものは、すべて生き残るためにあなたが必死で身につけたものだ。
2	失われた思い出	あなたの過去には大きな空白がある。そこには何があったのだろう。あなたの出生の謎だろうか、余人に知られたくない秘密だろうか、それとも忘れなければ耐えられないような、つらい記憶や恐怖なのだろうか。それはあなたにも分からないのだ。
3	守護者	あなたには守るべき者がいた。あなたは彼らの守護者として戦っていた。だが、それも昔のことだ。今のあなたは守護者ではない。守るべき者たちを捨てて来たのだろうか、あるいは守れなかったのだろうか。その理由については、自由に設定してよい。
4	家名	あなたは由緒正しい家に生まれた。この家名を持つ以上、あなたの生き方は家族や一族の長老たちが望んだとおりであるはずだった。いま、あなたはかつてのあなたから見れば想像もできない生き方をしている。刻まれし者、アルカナの刃として。
5	戒め	あなたは特定のルールにしたがって生きてきた。それは一族の掟、あるいは神の示した戒めか。あるいは尊敬すべき師の教えや主君の命かもしれない。しかし、あなたを縛り戒める権威はない。だが、あなたの心には強く残っている。
6	取り替え子	あなたにとって、これまでの人生には違和感があった。ここではないどこかにあなたの居場所がある。そう感じていた。親兄弟も、友人も、仲間も、すべては仮初のものにほかならない。いま、あなたは自由の空の下にある。ここではないどこかに行くことができる。この先に、きっとある。
7	英雄	あなたは英雄と呼ばれていた。人々はあなたを讃え、敬った。多くの人があなたの偉業を知っていた。その中で、あなたは孤独だった。あなたはあなた自身である前に英雄だった。英雄ではないあなたを知る者はいなかったのだ。
8	略奪	あなたは奪われた。あなたが大切に思っていた人や場所、あるいは自分自身すらも奪われた。あなたは無力だった。だから、あなたを襲う無法と暴力から何も守ることができなかった。そして、あの時、奪われたものは二度とは戻らない。
9	世捨て人	あなたは世俗を離れ、他者と関わることなく生きてきた。人の代わりに書物や自然から生きる方法を学んだ。だが、その生活を捨てて、あなたは俗世へと帰還した。あなたの興味を惹く何かがあるのか、それとも運命のイタズラだろうか。
10	裕福	あなたは経済的には恵まれた家系に生まれた。こんな時代だが、あなたは貧困や飢餓を感じたことはない。だが、刻まれし者となった現在、あなたは知っている。金貨では手に入れないものがあること、刃でしか果たせない使命があることを。
11	結社	あなたはある結社に所属し、結社のために生まれ、結社のために学び、結社のためにその技を磨いた。結社への奉仕は何よりも優先されると教え込まれた。そう、あなた自身よりも。だが、刻まれし者という運命があなたを解き放った、
12	幽閉	あなたは自由を奪われ、これまでとある場所に幽閉されていた。それは収監された牢獄かもしれないし、何らかの隠謀によって閉じ込められたのかもかもしれない。閉ざされた場所は、あなたからさまざまなものを奪った。だが、希望だけは残っていた。
13	死亡	あなたは一度死んだ。物理的に、あるいは精神的、社会的に死んでしまったのかもかもしれない。戦争、暗殺、事故、洗脳、さまざまな理由で、あなたは死んでいるのと同じような状態になった。刻まれし者という運命があなたに生をもたらしした。
14	売買	あなたは肉や野菜のように売られた。家畜のように取り引きに使われた。刻まれし者となったことで、くびきからは逃れられたが、あなたは受けた屈辱を忘れてはいない。必ず、報いを受けさせなければならない。
15	物品	あなたはとある物品を手に入れ、人生観を変えることになった。魔力のある剣、あるいは世界の真実か。魔法の書物やあなたに力を与えてくれた物品によってあなたは変わった。世界は新しい側面をあなたに見せ始めたのだ。
16	呪い	あなたは呪われた。それはあなたの家や血統に根づいたものかもしれないし、あなた自身の行ないに端を発するものかもしれない。なんにせよ、あなたは呪われている。その理由はなんであれ、あなたには想像できないようなことが起こり、その理不尽があなたにふりかかっているのだ。
17	先達	あなたに教えを授けてくれた親、兄弟、師、そして友、あなたの先達は偉大な存在だった。あなたは彼らに、あなたの先を行った者たちに追いつき、追い越すために技を研鑽し、力をつけていた。だが、いまだ彼らの域に到達していない。
18	裏切り者	あなたは裏切り者だ。あなたは友を、組織を、過去を、仲間を、親兄弟を、あなたは陥れ、騙し、奪った。あるいは、見捨て、逃げ出したのかもかもしれない。そうして得たものは……今となっては虚しいだけだ。裏切るだけの価値はなかった。
19	没落	あなたは、名誉、家名、地位、財産などを手放した。それらはあなた自身ではないが、あなたを構成していた大事なものではあった。その頃の、かつての思い出は今のあなたの惨めさを強調するには十分だった。
20	故郷	あなたは帰るべき故郷をすでに失っている。何者かに破壊されてしまったのだろうか。それともあなたが放逐されてしまったのだろうか。どちらにせよ、あなたはもう故郷に戻ることはないだろう。彼の地を踏むことは許されないのだ。
21	自分自身	あなたは自分自身と出会った。それは夢だったのかもかもしれない。単なる思い込みかもしれない。ただ、あなたには、それはあなた自身であった。それに間違いはない。妙な確信があった。今でも、そう思っている。

## 因果律表(現在) D20 ROC

出目	因果律	解説
0	熱情	あなたを動かすのは熱情だ。あなたの姿、声、作品、唄、力、技、刻まれし者という英雄存在、殺戮者という反英雄存在、あなたの胸に宿る熱はあなた自身を動かしていく。あなたはこれらの情報、存在、伝説を世に知らしめよう、そう感じている。
1	自由の風	生きるための理由や目的意識を持つ必要はあるのか？ それよりも大事なことがある。心が自由であることだ。あなたはみずからの心の命するままに流離っている。根無し草、風来坊などと呼ばれることもある。だが、旅に理由は必要なのか？
2	家業	あなたは現在の状況を悲観してはいない。あなたにとってこれは家業のようなものだ。物心つく頃からこんな生活で慣れきっていたし、あなたにとっては憐れまれたり、助けてもらわなければならないほどに悲惨な生活でもない。
3	誓約	あなたには大切な誓いがある。それは神や魔神といった人智を越えた存在とのものかもしれないし、家族や友人、あるいは愛する人とのものかもしれない。誓約はあなたが戦う理由であり、あなたに生きる力を与える原動力でもある。
4	蓄財	あなたにとって富を得て財を成すことがもっとも重要なことだと考えている。経済とは人間の活動その物であり、他者を信用して取り引きすることが人間の本分だ。取り引きを円滑にするには金がある。だからあなたは、金を稼いでいるのだ。
5	掟	あなたは一族、結社、宗派、門派などの掟にしたがって生きている。だが、それは本当にあなたが選んだ道だったのだろうか。選ばされているのではないだろうか。それを確かめる術はない。
6	愛	あなたは愛のために生きている。愛の対象はさまざまだ。特定の個人、集団、国家、理念、あるいは人類全体や世界なのかもしれない。あなたの愛を捧げ、愛を求め、愛を奪い、愛を与え続ける。それがあなたの生き方なのだ。
7	忠誠	あなたは忠のために生きている。あなたが忠実にしたい、誠実に相対するものはなんであろうか。主君だろうか、恋人だろうか、国家、あるいは宗教だろうか。ともあれ、あなたは忠を捧げ、誠を持って日々を過ごしている。
8	反抗	あなたは巨大な権威に立ち向かっている。主君か、国家か、神か、魔神か、あるいは……。敵は強大だ。まとも傷ひとつつけることは叶うまい。だが、敵が強いから戦わないなどという選択肢はない。命ある限りあなたは抗い続けるだろう。
9	贖罪	あなたは決して償えぬ罪を犯した。それは誰も知らないことかもしれないが、他ならぬあなた自身は知っている。自分の罪からは目を背けられない。逃げることは許されない。あなたの人生は、あなたの血は贖いのためにある。
10	真実	あなたは真実を求めている。意味のないことかもしれない。無駄なことなのかもしれない。だが、あなたの魂が、心が真実を求めて止まない。世界の真実がある、そう囁くのだ。もし、本当にそれがあれば、見てみたい、そう思うのだ。
11	正義	あなたは正義のためにその身を捧げている。あなたの正義だ。他人に強要できるものでもない。あなたにできることは限られている。だが、あなたが一歩でも進めば、すこしだけ世界はよいものとなる。ならば、歩みを止める理由は何もない。
12	修行	あなたは自身をより高みに昇らせるために旅を、戦いを続けている。あなたにとってすべての事物はみずからを鍛えるための試練となる。強大な敵、未知の場所や生物、謎、新しい知見。すべてはあなたが自身を研ぎ成長させる糧となるのだ。
13	絶望	あなたの心からは希望が失われている。絶望の闇に支配されているのだ。あなたは自身の死に場所を求めている。だが、なぜだろうか。死を止めようとする何かか心の奥底にいた。今はまだ死すべきではないと、誰かが囁いている。
14	補完	あなたにはぽっかりと欠けた部分がある。誰も、何も、それを埋めることはできなかった。その空虚さに耐えられず、あなたは旅を続けている。新しいものや見知らぬ人なら、この穴を埋められるのではないだろうか。その焦燥があなたを動かす。
15	憎悪	あなたの内側からわき上がるマグマのような熱く黒い心。いまやあなたを動かし、あなたを駆り立てる黒い炎。これがあなた自身を憎悪という名の焔にくべた結果だということも分かっている。いつか憎悪はあなたを焼き尽くすだろう。
16	望郷	あなたには強い望郷の念がある。別に生まれ故郷というわけでもない。だがあなたが“帰る”場所はあそこしかないのだろう。もちろん、今はまだ帰れない。刻まれし者の宿命をあつ場所を持ち込むことは許されないのだから。
17	遠き呼び声	あなたはあなたを導く声にしたがって旅をしている。あなたが道に迷うとき、あるいは何かを手取るとき、星の向こう、空の彼方からあなたに囁く声が聞こえる。その導きを受けてあなたはアルカナの刃として旅を続ける。
18	逃亡	あなたは逃走中だ。罪を犯したのかもしれないし、アウトローなのかもしれない。あるいはなんらかの理由で、あなたを探る者がいるのかもしれない。ともあれあなたひとつ所にはとどまれないし、熟睡できる夜もない。
19	搜索	あなたは探し求めている。失われた秘境、奪われた宝物、失った愛しい人やみずからの過去、あるいは自分自身ということもあるだろう。それがどれだけ困難であろうとも諦めるという選択肢はあなたにはない。必ず探し出すのだ。
20	生活	あなたが旅をするのは生きるためだ。日々の糧を得るためだ。だが、生業というには刻まれし者はあまりに危険である。聖痕の力はあなたを大いに助けているが、刻まれし者ゆえに生まれる危険は、それに見合っているかどうかは疑問だ。
21	渴望	あなたには狂おしいほどに求めるものがある。人だろうか、組織や国家、あるいは世界だろうか。ともあれ目的を達成するためには、力が必要だ。あなたの聖痕はその始まりとなるだろう。力に魅せられた者たちを倒し、より強大な存在となるのだ。

## 因果律表 (未来) D20 ROC

出目	因果律	解説
0	流離	あなたはひとつ所に留まることは許されない。安らげる夜を過ごす場所はない。
1	挫折	あなたの心が折れる。その日は何の前触れもなく、突然に現われる。
2	真実	あなたの夢が終わるとき、その時、本当のものが生まれていく。
3	慈愛	あなたの心は、優しい。それは春の夢の如く、儚く、空に溶ける。
4	栄光	あなたの魂が見せる輝きは、太陽のごとく人々を照らすという。
5	畏怖	この世の果てを見た。その先にある虚無は、あなたに何をさせるのか。
6	愛 (アガペー)	愛はさだめ、さだめは死。
7	餓狼	決して、群れることなく。飢えた狼として孤独に死ぬ。
8	闘争	わき上がる闘争意欲。それは尽きることなき炎のようにあなたを灼く。
9	夢幻	ただ消え去る。雨の中の涙のように。
10	全知	何も知らぬ。知らぬものなきゆえに。
11	虚空	色を失い、目に映らぬものの中に、真実はある。
12	束縛	闇の鎖があなたを縛る。闇はいつでもあなたを呑み込める。
13	死 (タナトス)	それはあなたを優しく迎える。ただ受け入れよ。
14	合一	交わることなき流れも、いずれひとつに合流する。
15	欲望	闇の奥、深淵があなたを呑み込む。
16	喪失	指の間から砂がこぼれていくように、留めることは決してできない。
17	求道	道は天高くどこまでも続いている。昇り続けるのだ、この道を。
18	嘘	本物だから輝くわけでも、ウソだから美しいわけではない。
19	俗世	世のしがらみがあなたにはひどく重い。
20	復活	死を乗り越えることで、生はより一層輝くだろう。
21	輪廻	運命の輪が回る。新たな時代が巡る。

## 因縁表 D20 ROC

出目	関係	解説	人物	参照
0	他生	いつか、どこか、自分ではない自分で、出会った。	コンラッド	P 338
1	師弟	彼を師と仰いだ。さまざまなことを学びとった。	サルモン・フィースト	P 337
2	忘却	いつか、どこかで出会った。そう、感じる。	オーレリア	P 338
3	兄姉	兄や姉のように慕っていた。	エリック	P 340
4	貸し	相手は貸しがある。まだそれは生きている。	ゲオルグ・シュローダー	P 336
5	憧憬	憧れていた。それは間違いない。	ヒルデガルド・フォーゲルヴァイデ	P 335
6	主従	仕えていた、あるいは仕えられていた。	リザベート・バーマイスター	P 339
7	強敵	幾度も刃を交わした。決着はついていない。	ガイリング二世	P 337
8	秘密	同じ秘密を共有している。それがふたりの絆だ。	オーレリア	P 338
9	恩人	彼には恩を受けている。それは大切な思い出だ。	サルモン・フィースト	P 337
10	取引	彼にはいろいろと世話を焼いてもらった。	マルガレーテ・フォーゲルヴァイデ	P 339
11	友人	彼はよい友人だった。今もそうである、と思いたい。	ノエル・フランシス・エルマー	P 336
12	怨敵	彼は敵だった。果たして今も、敵なのであろうか?	ヘルマン一世	P 335
13	後援	父や母のように後援してもらっていた。	コンラッド	P 338
14	借り	彼には借りがある。キミにとっては大事なことだ。	マルガレーテ・フォーゲルヴァイデ	P 339
15	信頼	彼を信頼している。その心を、その力を信じている。	ノエル・フランシス・エルマー	P 336
16	弟妹	年若い弟が妹のように大事に思っている。	シャロン	P 340
17	商売	彼のことはビジネスパートナーとして信用している。	エリック	P 340
18	奇縁	彼とは奇妙な縁で結ばれている。妙に断ちがたい。	シャロン	P 340
19	同志	彼とは志を同じくしている。同じ目的のために戦える。	リザベート・バーマイスター	P 339
20	有為	彼を全面的には信じられない。だが、有益な相手だ。	ガイリング二世	P 337
21	自身	彼を自分自身であるかのように感じている。	ヒルデガルド・フォーゲルヴァイデ	P 335